

米国フロリダ州 柑橘類の栽培面積は減少、出荷量は増加

FreshPlaza 2024年9月3日

フロリダ州の柑橘類の栽培面積は17%減少、出荷量は12%増加

柑橘類の総栽培面積が17%減少

販売用柑橘類年次調査の結果によると、柑橘類の総栽培面積は27万4,705エーカーで、前回の年次調査から17%減少した。5万7,551エーカーの減少は、前シーズンの減少面積よりも1万4,505エーカー多い。新植面積の4,751エーカーは前シーズンよりも少ない。(1エーカー=約0.405ヘクタール)

報告書の3ページ目の表に掲載されている23のすべての郡で、栽培面積が減少した。前シーズンから1万2,374エーカー減少したヘンドリー郡は、最も多くの面積を失った。ポーク郡は5万8,516エーカーで柑橘類の栽培面積が最も多く、デント郡が5万1,800エーカーでこれに続いている。

オレンジの栽培面積は24万8,028エーカーで、前シーズンから18%減少した。現在、バレンシア種の栽培面積はオレンジの総栽培面積の63%を占め、バレンシア種以外の栽培面積が35%で、残りのオレンジ栽培面積の内訳は不明である。グレープフルーツの栽培面積は現在1万4,316エーカーで、前シーズンから10%減少した。

特産果実の栽培面積は1万2,361エーカーで、前シーズンから6%減少した。タンジェリンとタンジェロは7,189エーカーで、特産果実の58%を占めている。残りの42%は他の柑橘類の栽培面積で、合計5,172エーカーである。

柑橘類の栽培面積に関する米国農務省の報告書全文は[こちらをクリック](#)

全柑橘類の生産額は6%、出荷量は12%増加

2023-24年度の柑橘類生産額(樹上評価額)の暫定値は2億2,100万ドルで、2022-23年度の改訂値である2億800万ドルを6%上回った。

フロリダ州の2023-24年度の柑橘類の総出荷量は2,020万箱で、前シーズンの1,810万箱から12%増加した。オレンジの総出荷量は14%増の1,800万箱であった。そのうちバレンシア種以外のお荷量は、2022-23年度より10%多い676万箱であった。バレンシア種のオレンジのお荷量は1,120万箱で、16%増加した。グレープフルーツの総出荷量は1%減の179万箱であった。2023-24年度のタンジェリン及びタンジェロのお荷量は、前シーズンから6%減となった。

柑橘類のお荷量とお荷額に関する米国農務省の報告書全文は[こちらをクリック](#)

柑橘類の品目別お荷量、用途、価格及びお荷額 フロリダ州 2023-24年度

品目	お荷量	用途		樹上評価額	
		生鮮消費	加工用	価格	お荷額
	千箱	千箱	千箱	米ドル/箱	千ドル
バレンシア種以外のオレンジ	6,760	798	5,962	8.19	55,387
バレンシア種のオレンジ	11,200	954	10,246	9.51	106,492
オレンジ合計	17,960	1,752	16,208	9.01	161,879
赤肉グレープフルーツ	1,550	1,050	500	(X)	(X)
白肉グレープフルーツ	240	151	89	(X)	(X)
グレープフルーツ合計	1,790	1,201	589	21.87	39,151
タンジェリン及びタンジェロ	450	329	121	43.73	19,677
柑橘類合計	20,200	(X)	(X)	(X)	220,707

Xは公表データなし

訳注: 上の表は米国農務省の報告書から品目別の2023-24年度分のみ抽出しました。